

認証で引き継ぐ伝統の森づくり 尾鷲ヒノキのFSC認証



自：自然共生
資：資源循環
低：低炭素

キーワード

地方創生／官民連携／森林・里山活用／
ブランド化

フィールド

中部
(三重県)

木
森

実施体制

東紀州・尾鷲ひのきの会（地域の林業者／製材業者／木
材加工業者など10団体強で構成）／尾鷲市／
紀北町／三重県／県内の工務店



アクションの目的

認証制度を活用した森づくり及びブランド化。

アクションの背景

2000年、速水林業が国内で初めてFSC認証を取得した。さらに翌年以降、流通過程においてFSC認証材が非認証材と分別されていることを確認するCoC認証を、元々やり取りのあった複数の事業者が取得した。

2003年、認証を取得した事業者を中心に、東紀州・尾鷲ひのきの会が発足した。森林組合おわせが窓口となり、FSC認証をテーマに尾鷲ヒノキのPR、製品開発、販路開拓などに取り組んでいる。

アクションの内容

【FSC認証をテーマに尾鷲ヒノキのPR、製品開発、販路開拓】

森林経営にあたり、例えば下記のような環境管理を行い、生物多様性を確保している。

林内に広葉樹を誘導し、必要以上の下刈りは避け、除間伐の際は下層植生の維持に配慮する。

生物の遺伝子に影響を与えることが証明されている化学薬品は使用しない。

林地に地域の原自然条件を再生した部分を配置するよう努める。

FSC認証の基準を遵守した森林の管理、加工や流通の段階における木材の管理を行う。

アクションのポイント

◎FSC認証を一つの共通項にして木材生産から製材、販売等に関わる団体が一体となり、地域の抱える課題に取り組んでいる。会としてまとまることで、行政の協力が得やすくなるほか、一定の予算やマンパワーを確保できるため、イベントへの出展などにも対応が行いやすくなる。

アクションの効果と今後の展開

○尾鷲ヒノキを取り扱う県内の工務店等により、会も協力して、FSC認証取得林を訪れる見学ツアーが実施されている。速水林業の森には毎年2,000人以上の人が訪れている。

東紀州・尾鷲ひのきの会

〒 519 - 3405 三重県北牟婁郡紀北町海山区船津2655 森林組合おわせ内

○ TEL / 0597-35-0877 ○ web / <http://www.re-forest.com/owase-hinoki/>